

# よかかせ

第 10 号

2015 年(平成 27 年)

発行日 10 月 10 日

発行：中間市人権男女共同参画課

人権センターだより

## まつり 第 4 回よかかせ祭を開催します

10 月 24 日(土)・25 日(日)の 2 日間、中間市コミュニティ文化祭が開催され、人権センターも、“第 4 回よかかせ祭”としてこの文化祭に加わります。今回の“よかかせ祭”も、子どもから大人まで楽しめる内容ですので、みなさまお誘い合わせの上ご参加ください。

日時

平成 27 年 10 月 24 日(土)  
25 日(日)  
10 時から 15 時

場所

中間市人権センター  
中間市岩瀬一丁目 17-1

### まつり 今年の“よかかせ祭”は…

#### 無料 プカプカウキウキすくい

お祭りで人気の「プカプカウキウキすくい」を駐車場で行います。キャラクターグッズやかわいい小物などをゲットして下さい。

24日  
10:00~  
12:00

#### 無料 お米すくい

“よかかせ祭”恒例の「お米すくい」を行います。量に限りがありますので、お早めにお越しください。

24日  
11:00~  
11:30

#### バザー

社会福祉作業所の方より、いろいろな商品のバザーを行います。

24日  
10:00~  
12:00

#### 人権ポスター 人権標語

人権センター 2 階の研修室や会議室において、市内小中学校の児童・生徒の作品や、人権啓発活動などを展示します。子どもたちが感じている人権意識をぜひ知ってください。

24日・25日  
10:00~  
15:00

コミュニティ文化祭に参加している施設が共同で行うスタンプラリーにもぜひチャレンジしてください。



なかま元気スポーツクラブキッズダンス



キッズゴスペルクワイヤー



### 第3回中間市人権フェスティバル

～差別は予断と偏見から、先ずは知ることがスタート～



### 第3回中間市人権フェスティバルが開催される!

7月の同和問題強調月間の活動の一環として、中間市人権フェスティバルが7月25日(土)なかまハーモニーホールで開催されました。

第一部では、659名の方が「九州朝鮮中高級学校」の生徒による民族舞踊や歌・民族楽器による演奏、また中間で活動している子どもたちによるダンス・ゴスペルなど、楽しいひと時を過ごしました。

第二部は、757名の参加がありました。講師に奈良県西光寺住職の清原隆宣さんを招いて同和問題の講演をおこないました。そのなかで、日本で最初の人権宣言と云われる「水平社宣言」の意味、「いのち」の大切さや、ウソが本当になる社会性・歴史性など、わかりやすい講話でした。

また、小中学生の人権ポスター・標語や市民からの作品展示に多くの参加がありました。さらに、希望が丘高校・中間高校の生徒たちがボランティア参加で、人権フェスティバルを盛り上げました。

今回、多くのアンケートをいただきました。一部・二部とも好評の感想が多く寄せられました。それと同時に、今後開催するうえでの貴重な意見もあり、次回の人権フェスティバル開催に向けて活かしていきます。



ダンスグループ M's(エムズ)



ゆるキャラのみなさん



### なやみごと相談



☆なやみごとや困りごとを人権擁護委員(市内在住6名)が無料で相談をお受けいたします。秘密は厳守されますのでお気軽にご相談ください。(予約不要)

場 所: 中間市人権センター  
 中間市岩瀬1丁目17番1号  
 ☎093-245-3511



10月14日(水)	13:30～15:30
11月11日(水)	13:30～15:30
12月9日(水)	13:30～15:30
1月13日(水)	13:30～15:30

### 子育て女性再就職支援

出張面接相談

子育てと仕事を両立したい女性の方を応援します。

※前週の木曜日までに予約が必要です

予約問い合わせ: 093-571-6440  
 (子育て女性就職支援センター)

場 所: 中間市人権センター(中間市岩瀬一丁目17番1号)  
 ☎093-245-3511

11/2 (月) 12/7 (月) 1/4 (月) 2/1 (月)

それぞれ10:00～15:00



# 人権教育はいま!

シリーズV  
中間東中学校

シリーズ第5弾は、中間東中学校の人権教育を紹介します。今回は、障がい福祉サービス事業所への職場体験を通して学んだことを報告します。

## 障がいについて知り、生き方に学ぶ ~仲間園への職場訪問を通して~

中間東中学校の生徒は、登下校中など、すぐ近くにある仲間園の方々とよくお会いします。しかし、今まで交流する機会を持っていませんでした。

本年度、2年生125名の生徒が毎週1クラスずつ仲間園の職場体験をさせていただくことになり、事前にDVD(様々な家族のドキュメンタリー)を視聴して学習しました。それぞれの生き方や自分のありかたについて考えた後、実際に訪問して多くのことを学ぶことができました。



(箱作り作業の様子を学びました)

### 参加した子どもたちからの感想

◆ みなさんすごく手先が器用で、何の作業もすごく速くて「作り慣れてるなあ」とか「ずっとやってきているのでこんなにできるのかなあ」と思った。それに、お仕事しながら自分たちが入っても集中して仕事されていたから、自分たちを受け入れてくれてすごく優しい人たちだなあと思った。小学生の頃は仲間園に行ったけど、小学生の頃は理解できなかったことが中学生になって理解できるようになって嬉しかった。今日学んだ人の優しさを普段の生活に取り入れていこうと思います。

◆ 「障がい」があるからといって全部が全部できないんじゃない、ということが分かりました。作業している人は笑顔だったり明るい表情で、私は家の手伝いや宿題を面倒くさがる人が多いのに、「見習わなきゃな」って、いっぱい思いました。

◆ 仲間園の職員の人たちは優しく接していて、手助けをあまりしないことで、少しでも「一人で仕事ができる」ようにしていることが分かりました。

◆ みんな仕事に集中していて、作業がとても速くて、とても丁寧だった。その作業の一つ一つが機能訓練になることが分かった。それも丁寧にチェックしていて、少しでもキズがあれば返品されるなんて、社会は厳しいと思った。

◆ 自分は正直なところ「障がい」を持っている人は何もできなさそうな偏見的な見方をしていたけれど、仲間園に行って、当初思っていたことが申し訳ない気持ちになりました。



(最初のあいさつは緊張しました)

中間東中学校では今後も、地域に学び、正しい人権感覚を身につけ、お互いを大切にできる人間関係づくりを学んでいきたいと思っています。